

忍心



登場人物

藤林凛の妹

姉に忍として女としての
過度な尊敬と憧れをいただく



藤林 百



藤林 凛

黒田に買われ以降

付き人兼世話人

として扱われる

黒田の権力と商業の手腕に

魅せられてゆく

黒い噂の絶えぬ商人

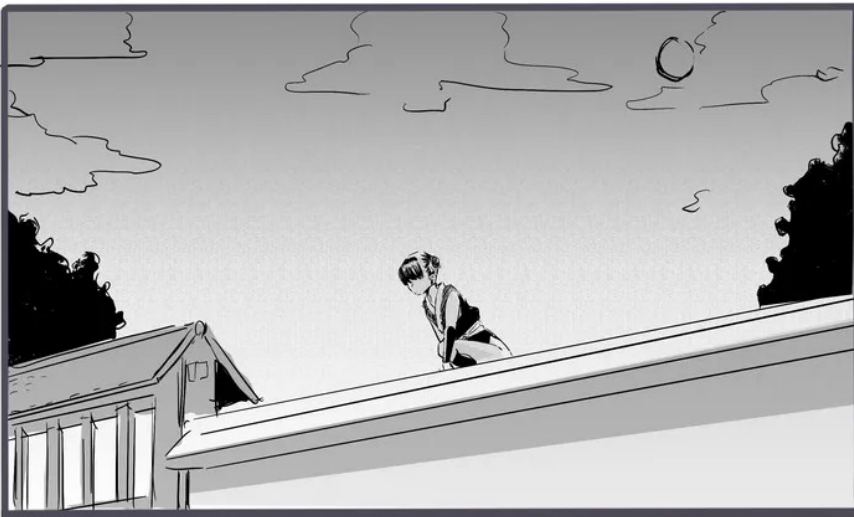
売国を目論み裏で国を

操ろうとする

豪商の黒田の異名をもつ



黒田 助平



黒田邸



よし

潜入成功

名門藤林家 忍
藤林 もも百



直ぐに
助け出すから



姉上待ってて



港
貿易船

これが
南蛮の貿易船か

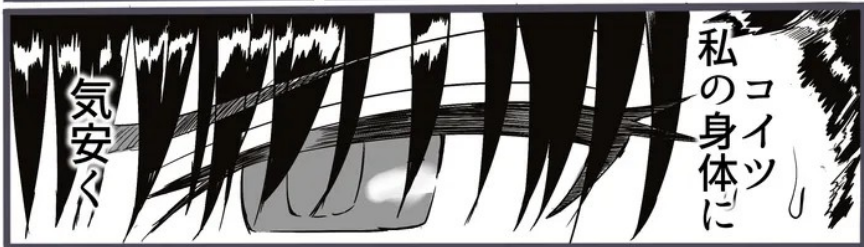
表向きは異国の物産
としているが

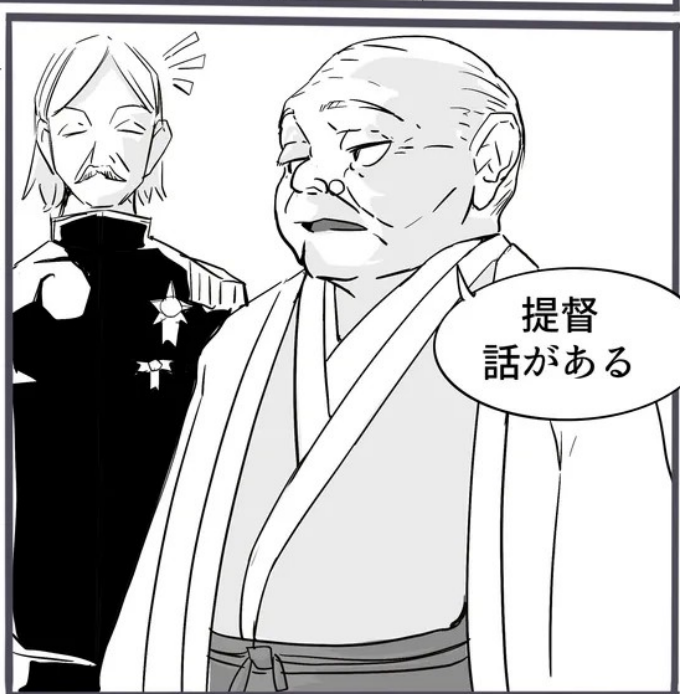
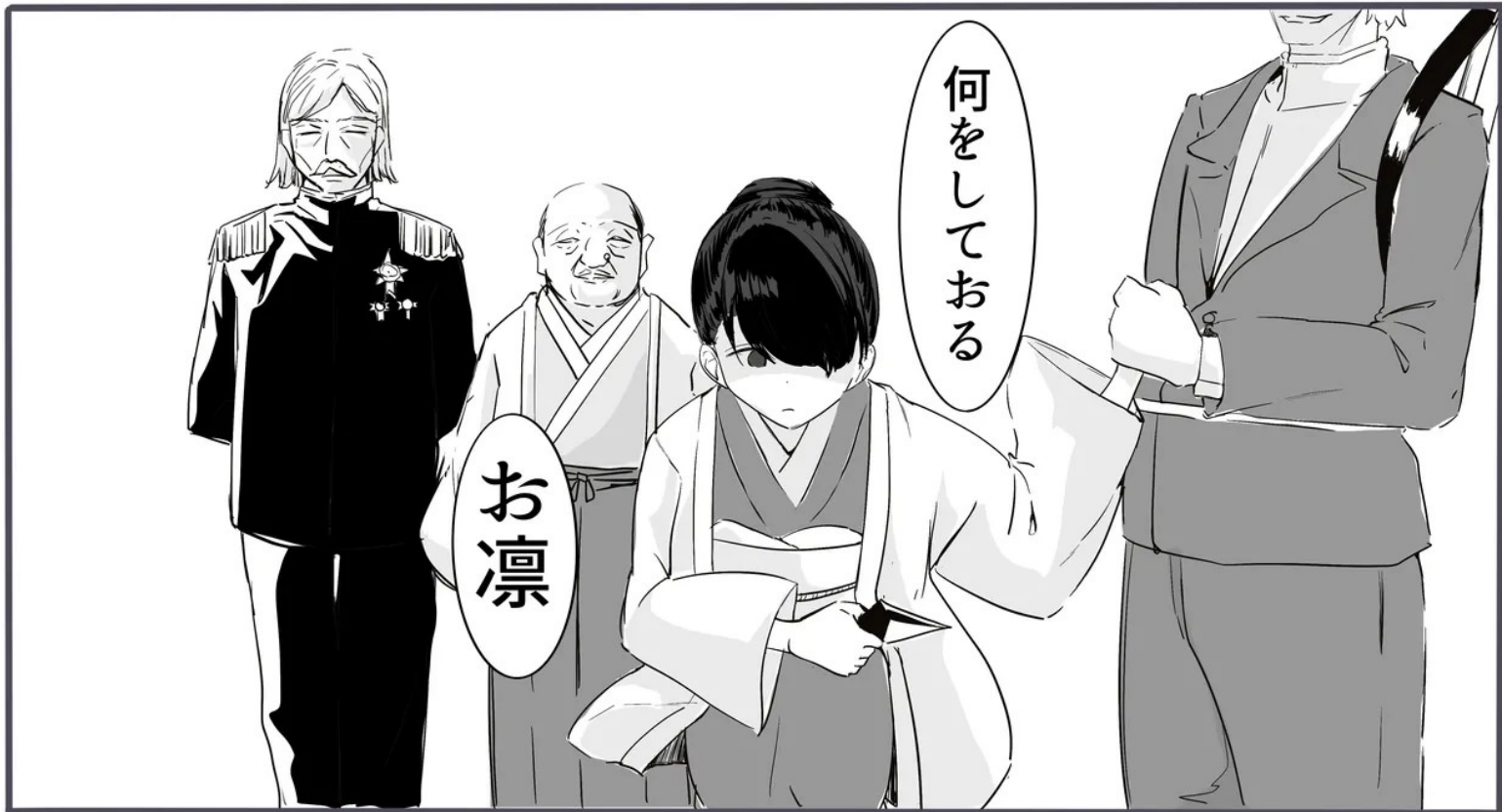
ご禁制の品も
多く積み込んであるだろうな

黒田は船内でお偉いと
商談か

藤林 凜

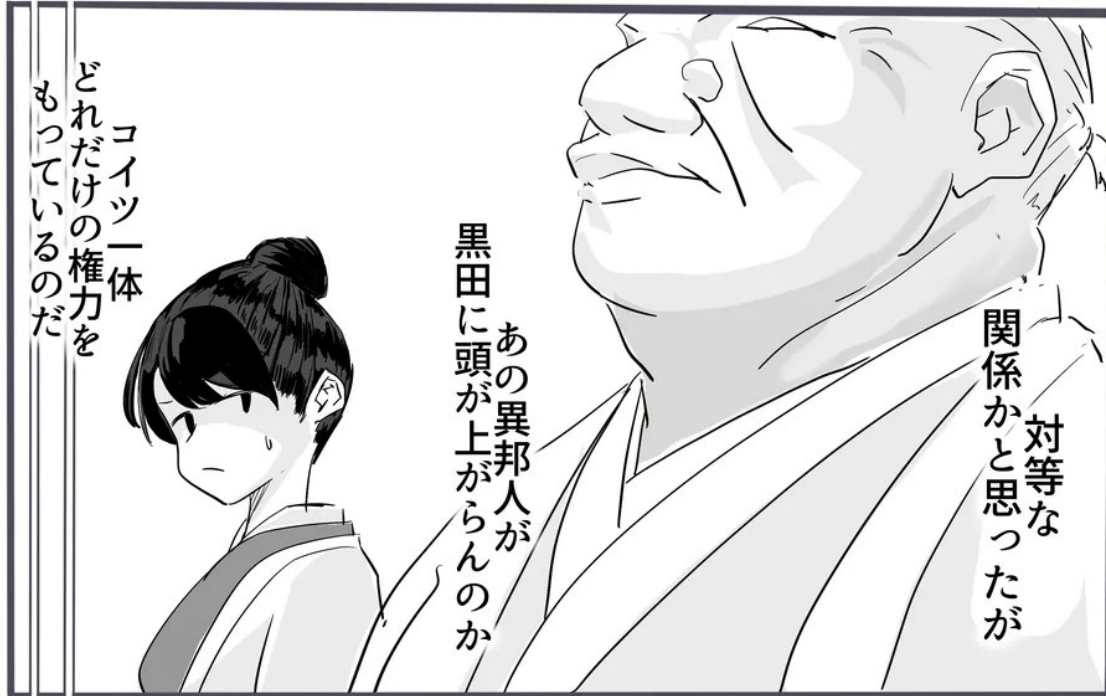
私に監視も付けずに
こんなところに連れてきて
どういうつもりだ・・・
おそろくは異国の
武器や薬を大量に
買い付けるつもりだろう







モウシワケ
ゴザイマセンデシタ



あの異邦人が
黒田に頭が上がるのか

コイツ一体
どれだけの権力を
もっているのだ



いや・・・

そこまで
しなくとも・・・

対等な
関係かと思っただが



尻を触られた
くらいで・・



ちよつと
やり過ぎ何じゃないのか



土下座なんて



悪くない
気分じゃる



他者が自らに
平伏す様は

それに

僕の女に触れたんじゃ
当然の報いじゃ



・
・
・



最初はただのスケベ爺イだと
思っていたのに

さあお凜の可愛い
お口で気持ち良くしてくれ♡

想像以上に
とんでもない男だ



迫り来る次の時代
この国を裏で支配するのは

本当にこの
男かもしれない



異国に国を売るなど
どこか絵空事だと思っていた

だが船での一件を
見せられては

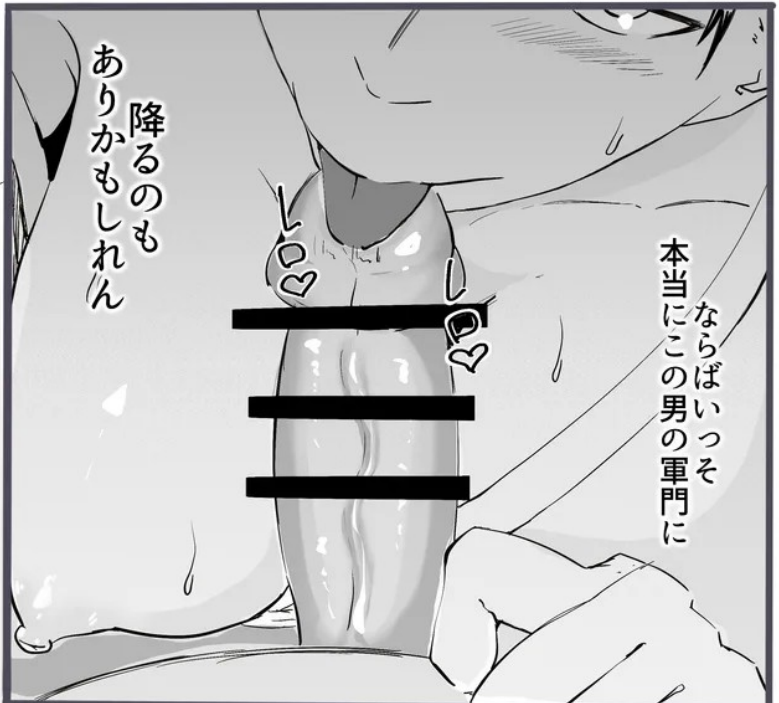


担ぎ上げて

じゅぽ♡

じゅぽ♡

この男を



降るのも
ありかもしれん

ならばいっそ
本当にこの男の軍門に



こりゃ
ええのう♡

御家の当主
など眼では無い

国そのものを
裏で操る



売国を成功させれば

私も必然的に成り上がる



おほっ♡

♪♡
♪♡

コイツに
もつと深く

食い込んでやる



どの道もう後には
引けないんだ

やつてやる



その為には
異国語の学習

異邦人との
コネクション

黒田の右腕となるには
あらゆる経験と学びが必要になる



この豚に

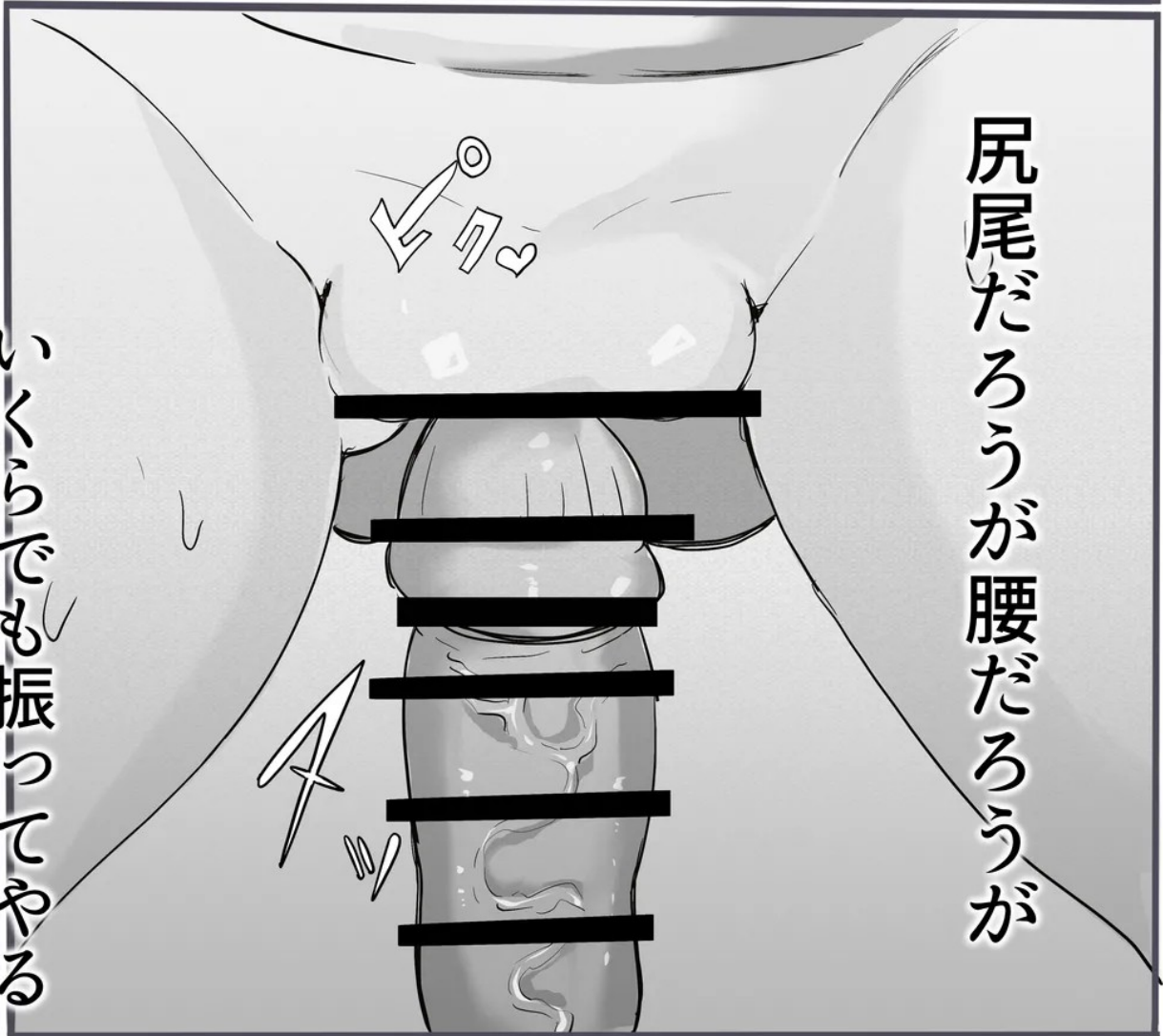
その為なら



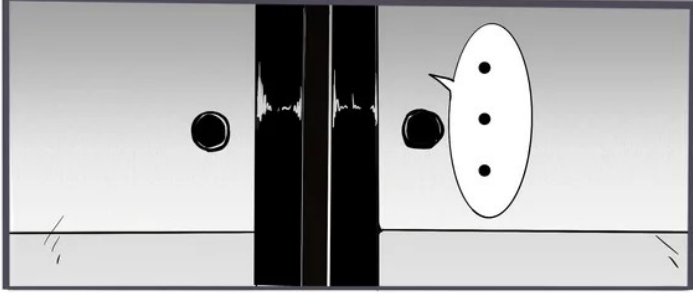
成り上がってやる



いくらでも振ってやる



尻尾だろうが腰だろうが





あら覗き見?
イケナイ仔猫ちゃんね♡

んっ!?



何処から
侵入したのかしら?

しまった
敵の接近には
気づかないとは



静かにしなさい



向こうに
気付かれるわよ



んっ!?



覗きなんて
あまりいい趣味じゃないわよ







あなたは誰に雇われた忍なのかしら？



さてと



ふーん



な、なんだ

じょ〜

...

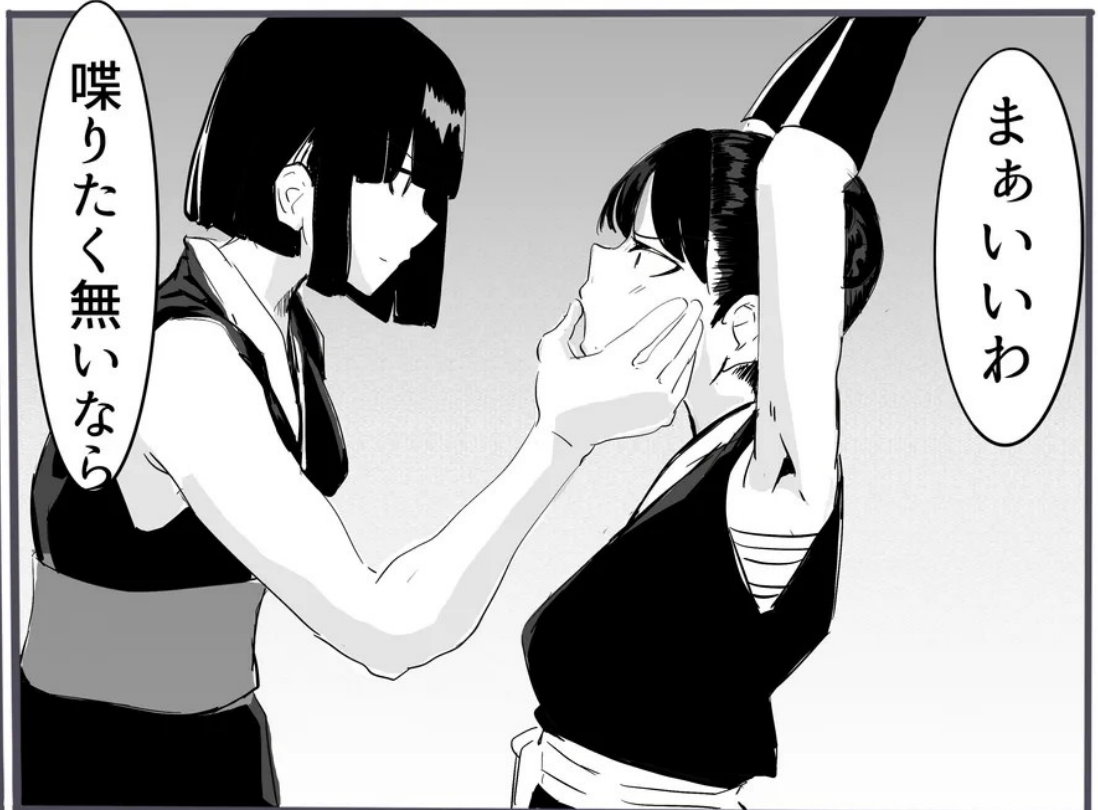


お前たちに話事など何も無い

拷問しても無駄だからな

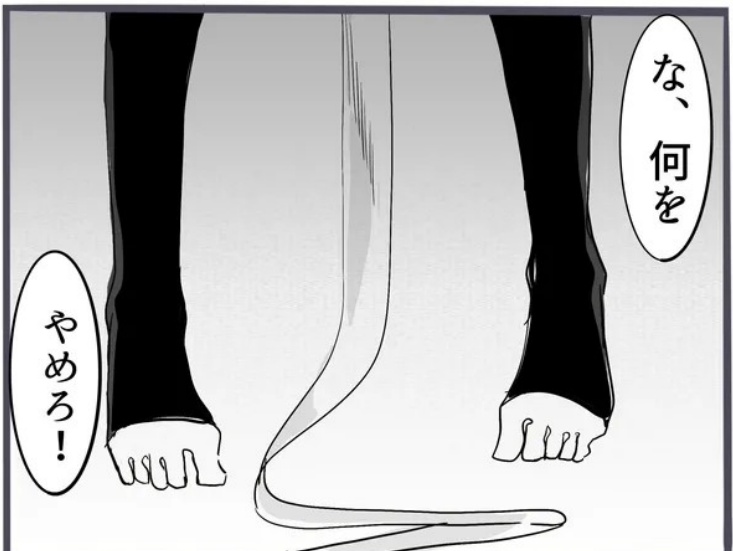
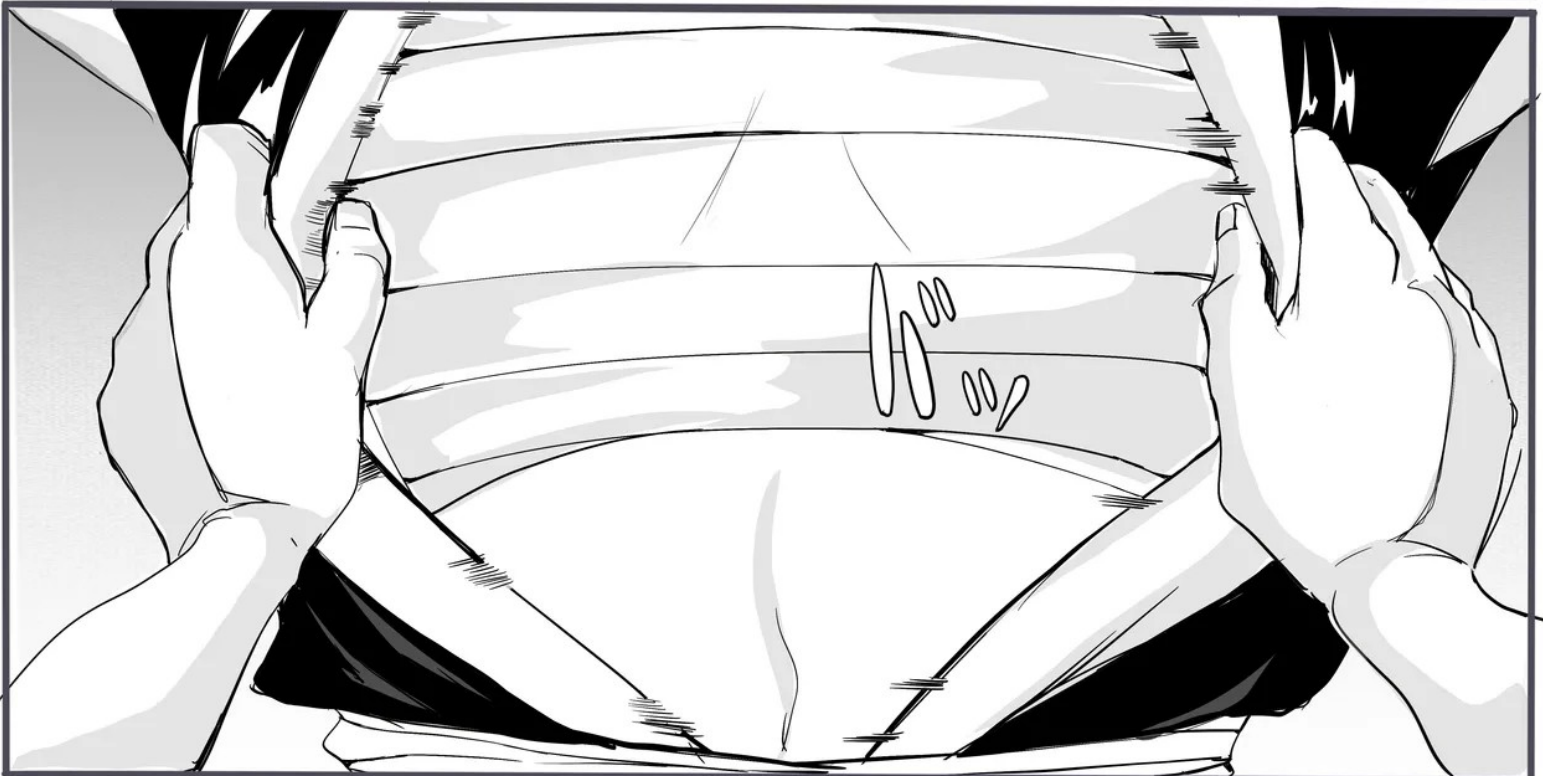


喋りたくく
してあげる♡



喋りたくく無いなら

まあいいわ

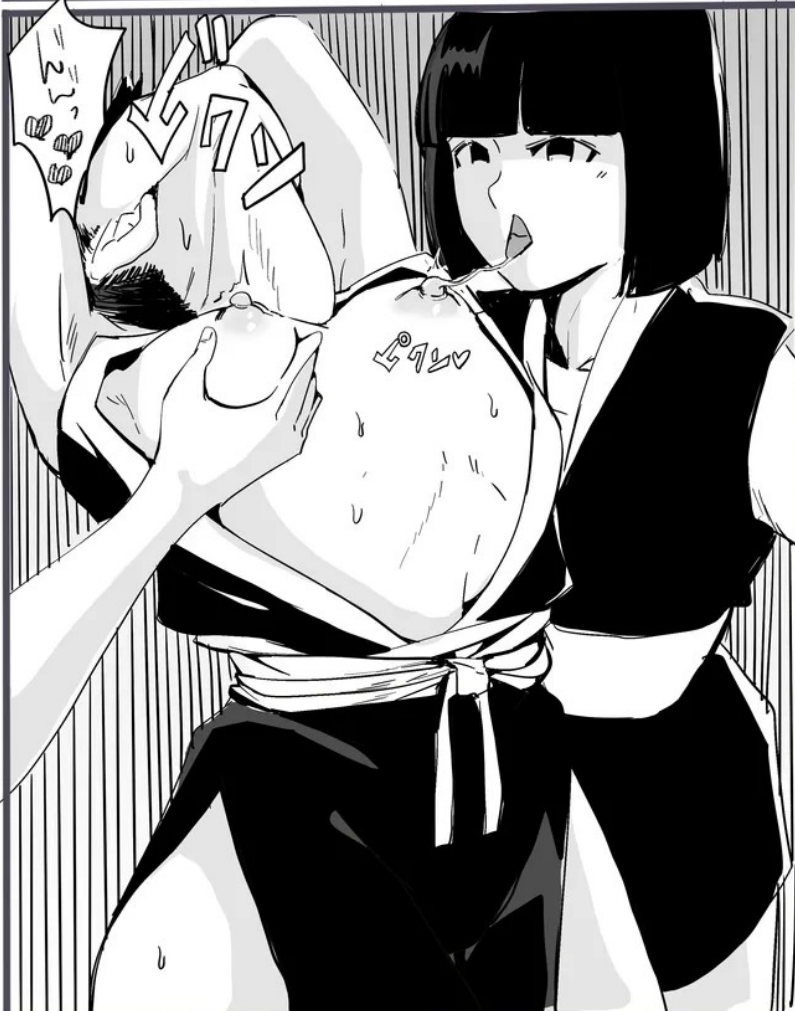
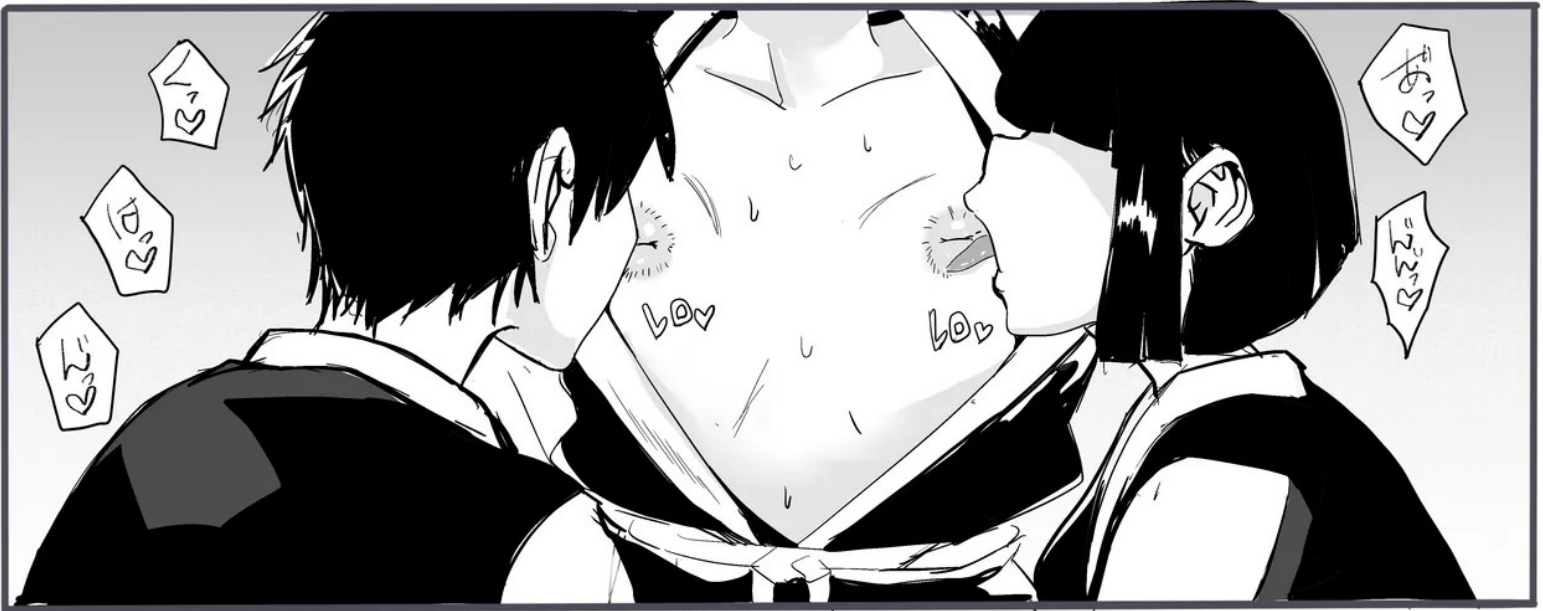


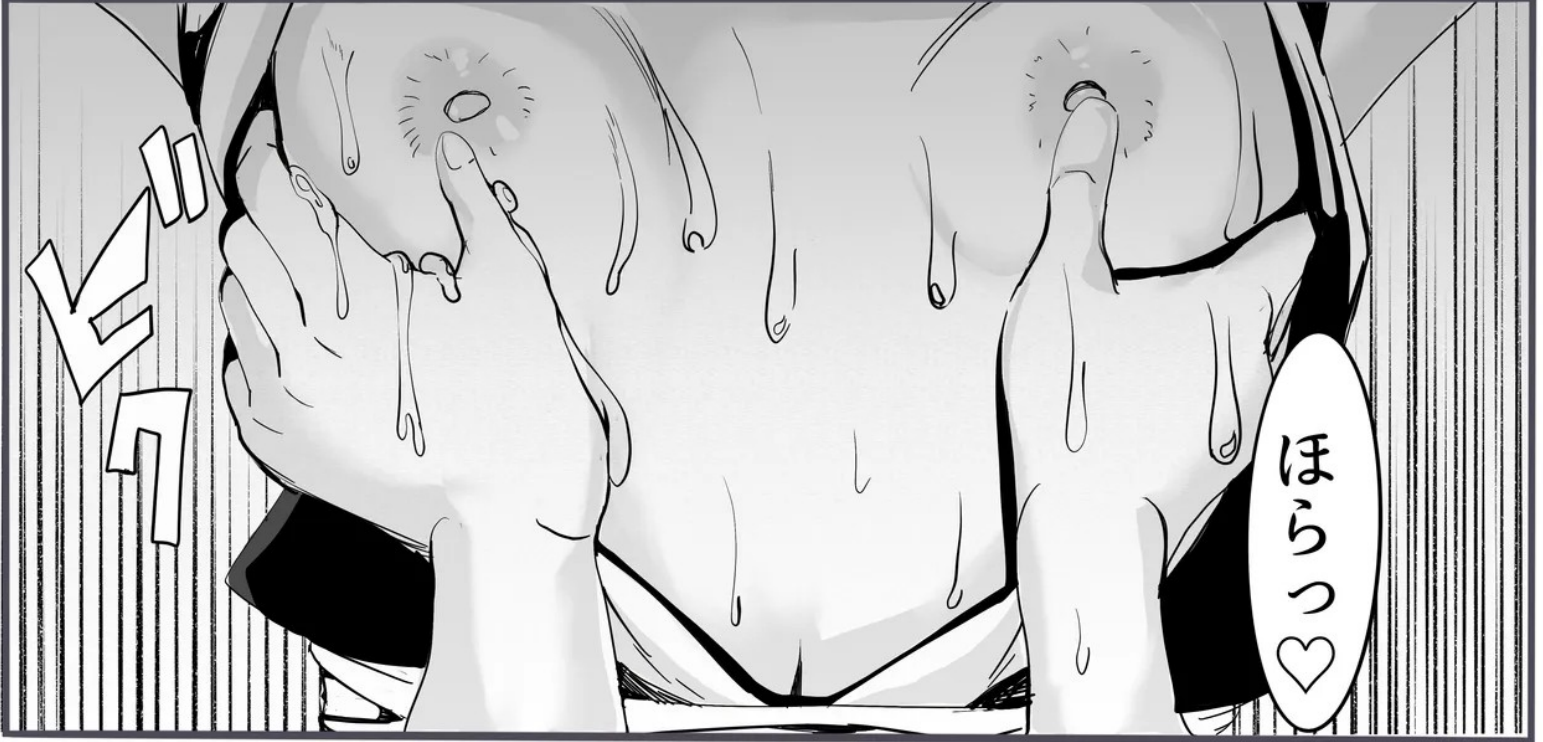
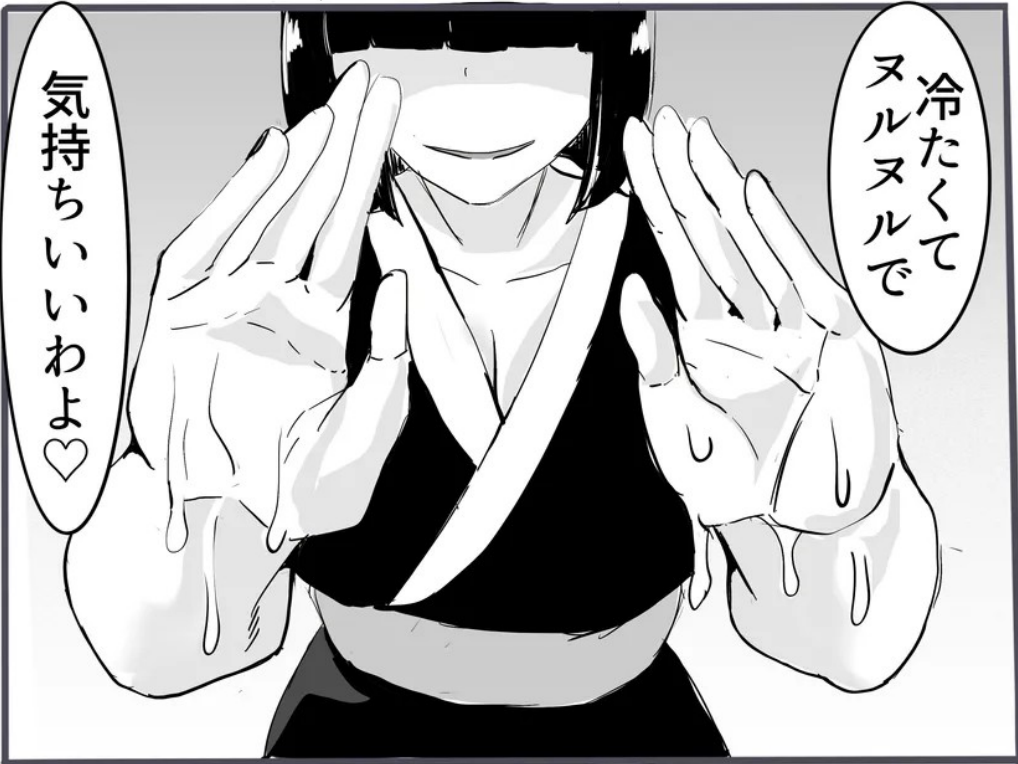
な、何を

やめろ!

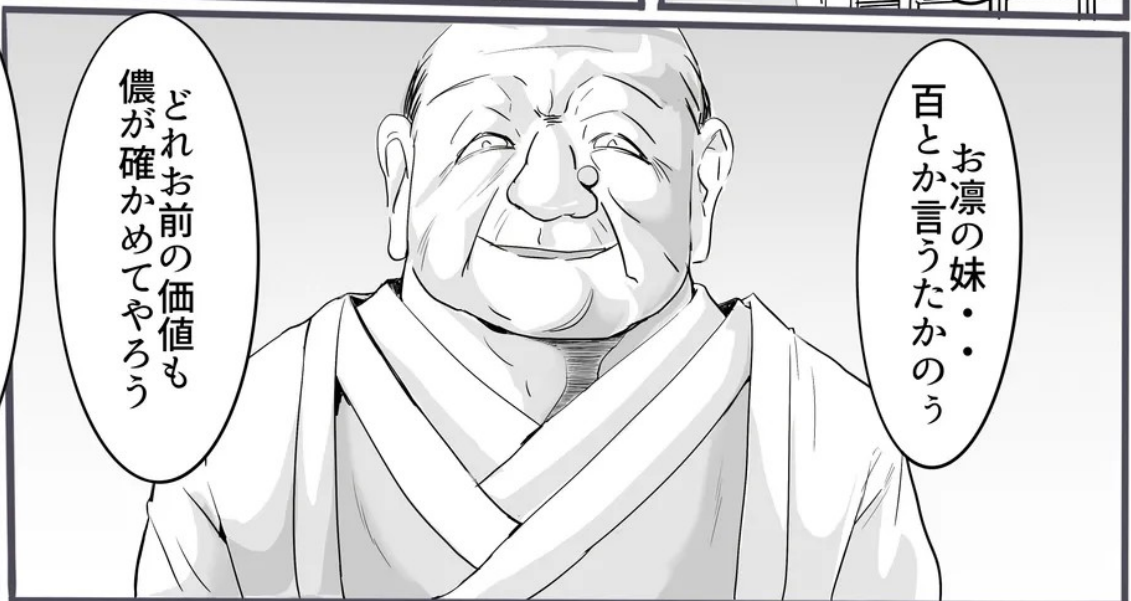


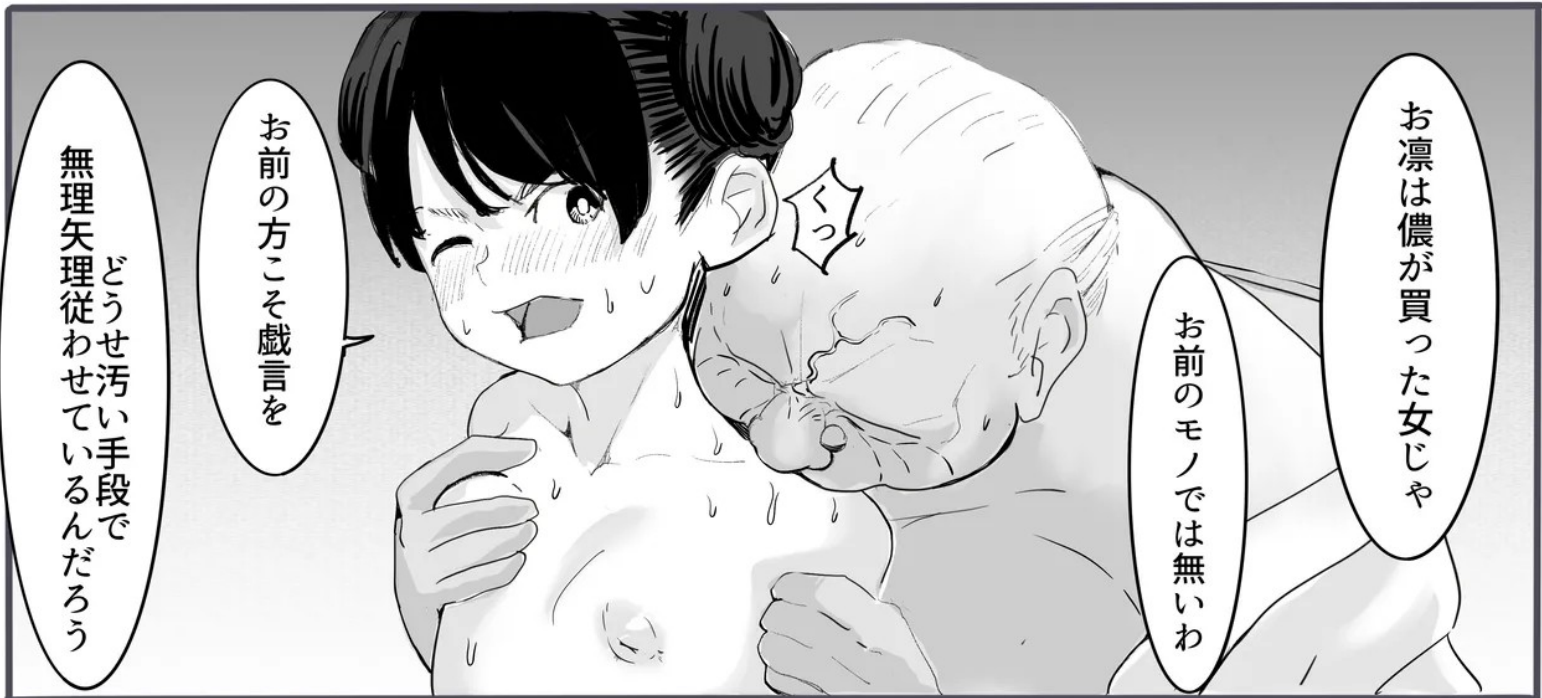
なっ!?









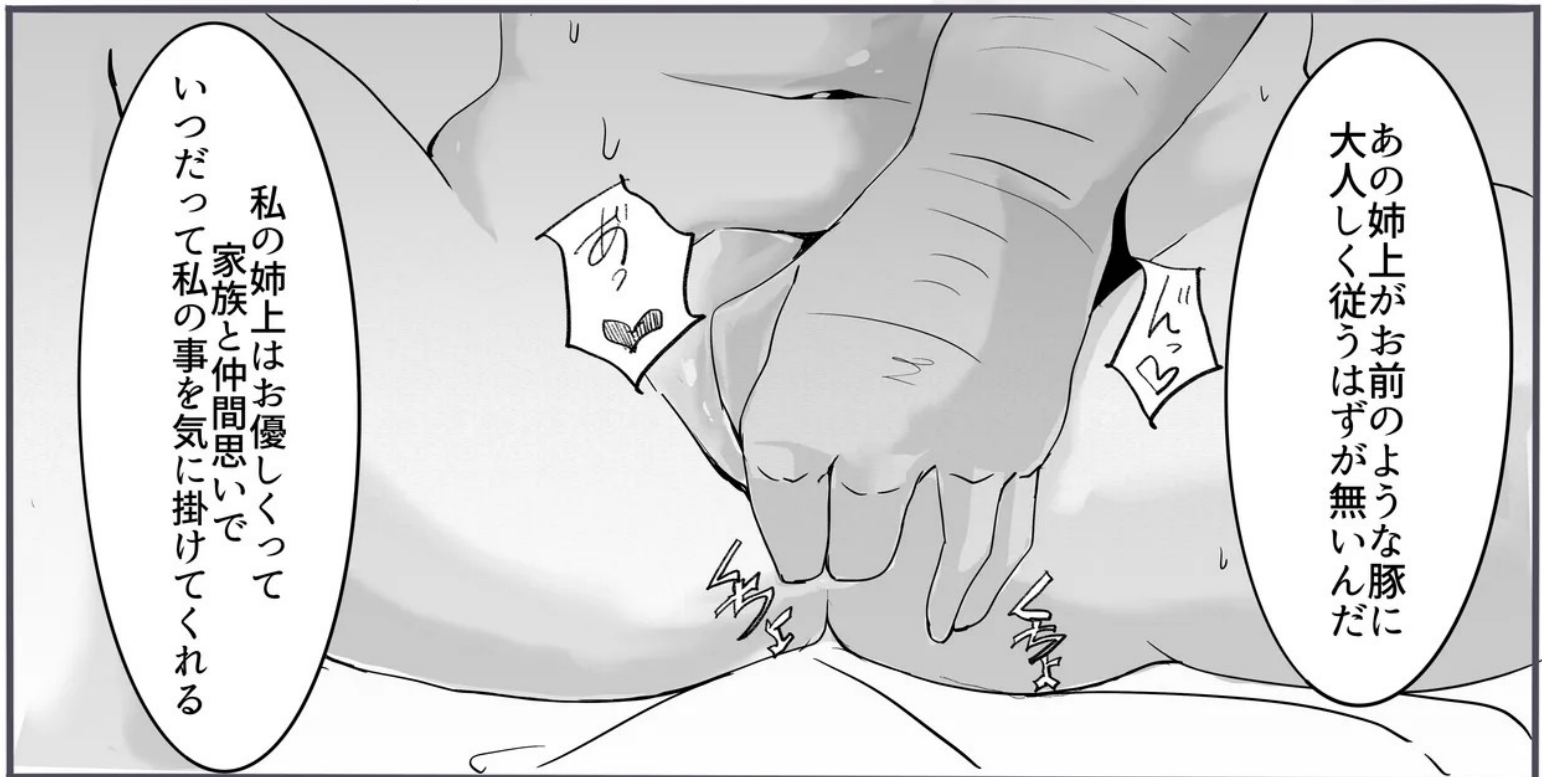


お凜は儂が買った女じゃ

お前のモノでは無いわ

お前の方こそ戯言を

どうせ汚い手段で
無理矢理従わせているんだらう



あの姉上がお前のような豚に
大人しく従うはずが無いんだ

私の姉上はお優しくって
家族と仲間思いで
いつだって私の事を気に掛けてくれる



奴の正体・
腹の中は欲深の

・・・やれやれ
お前はお凜の事を
何もわかっておらん

なんだと

蛇だ



アレは稀に見る
欲深の大蛇よ

お凜自身も気づいておらぬ
自身の正体



少なくとも

まだ分からんが

いずれ龍と成るか
欲に焼かれて詰むかは



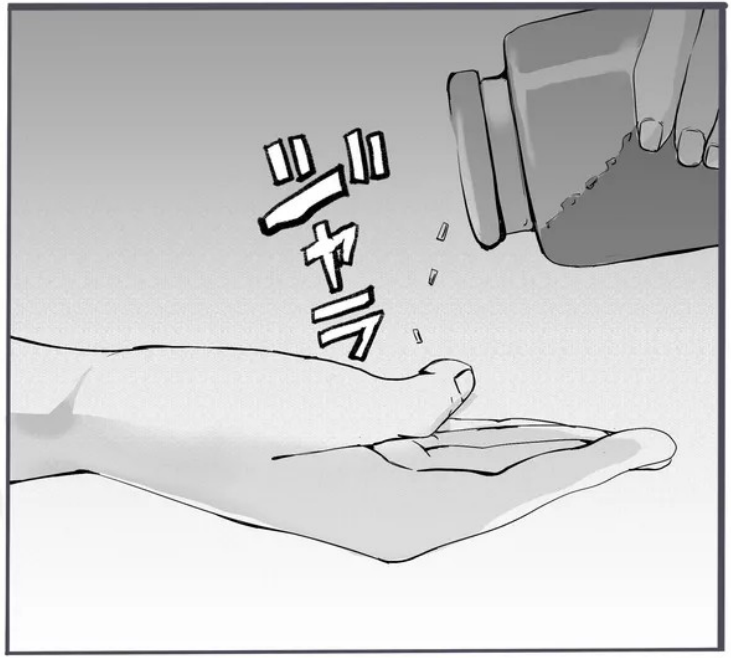
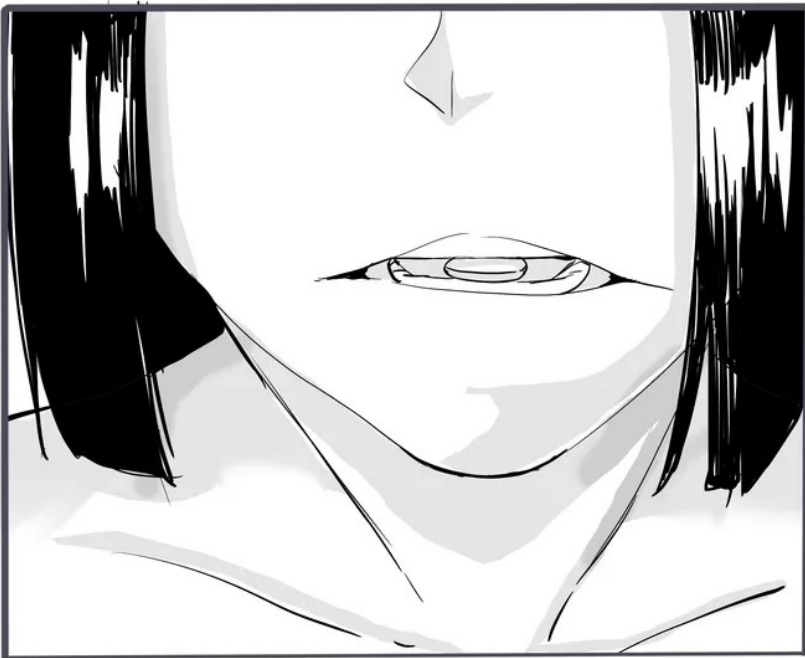
理想ばかりの目に向けては
物事の本質は測れんぞ

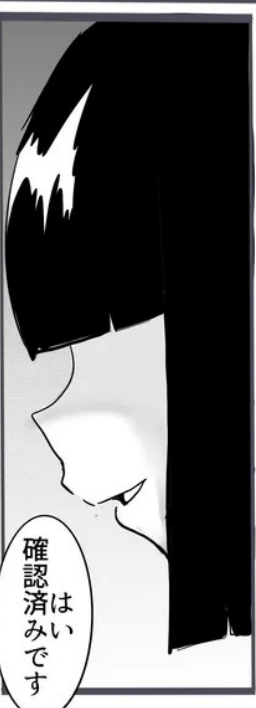
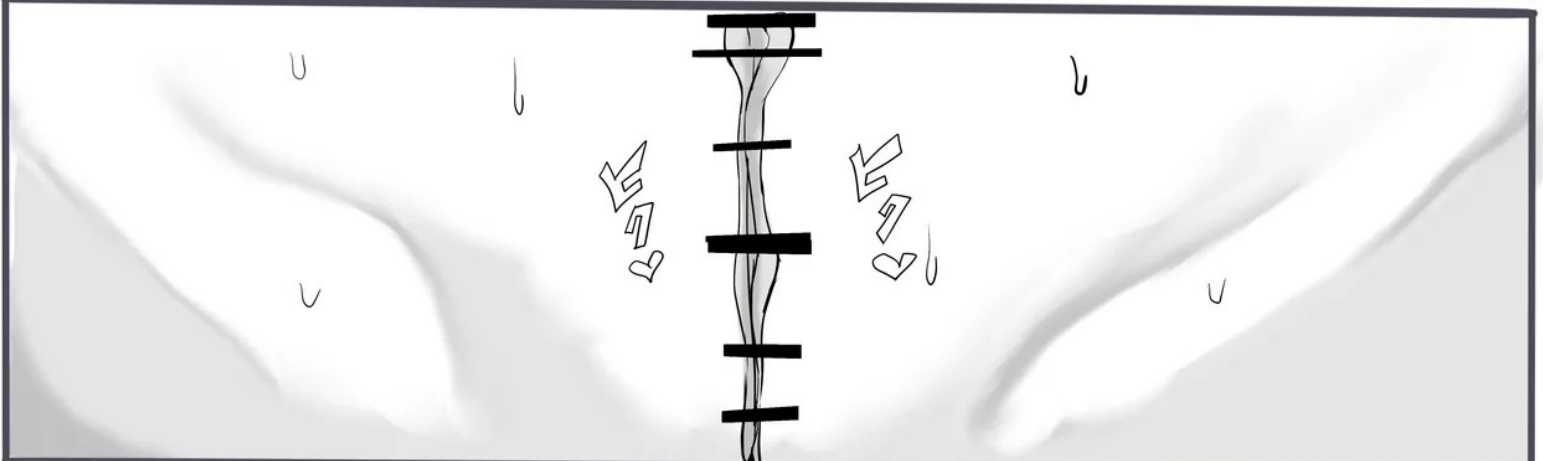
百

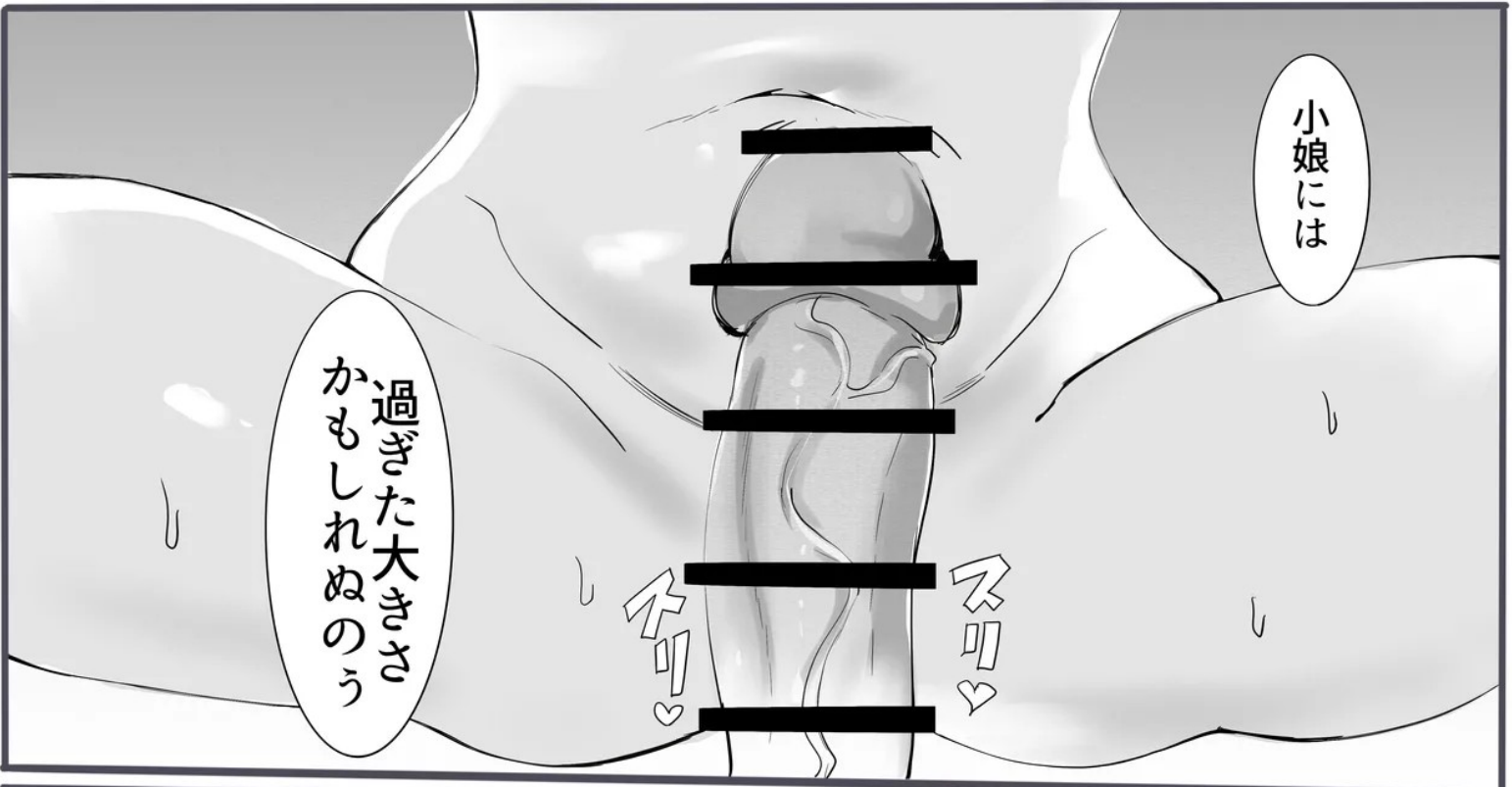


奴の表層に過ぎん

お前の見ている
姉など







小娘には

過ぎた大きさか
もしれぬのう



実にこれが
好きでなあ

お前の姉も



問題なからう

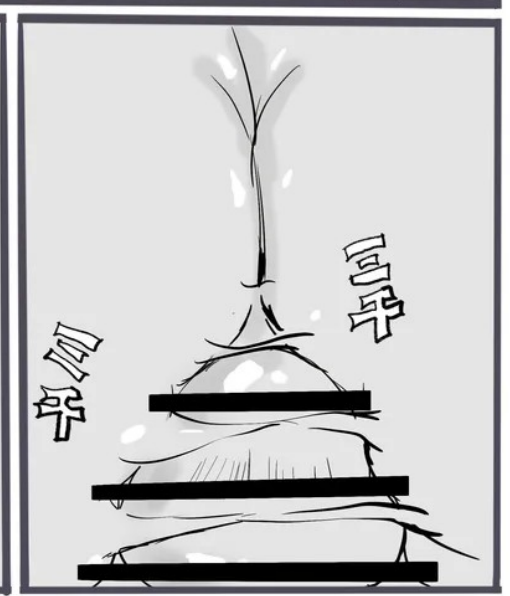
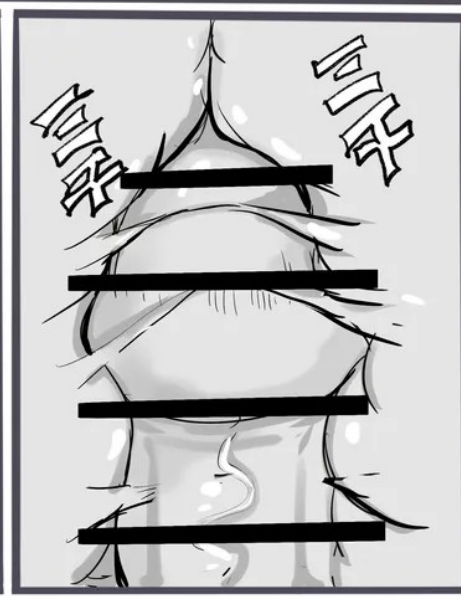
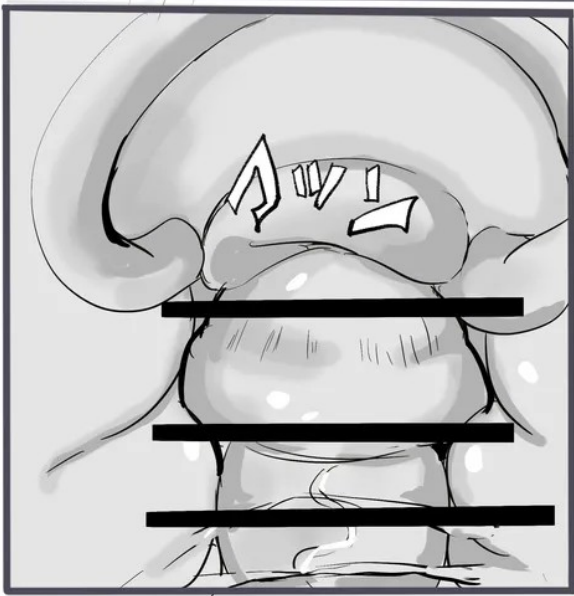
まあ薬も
効いておるじやろうから

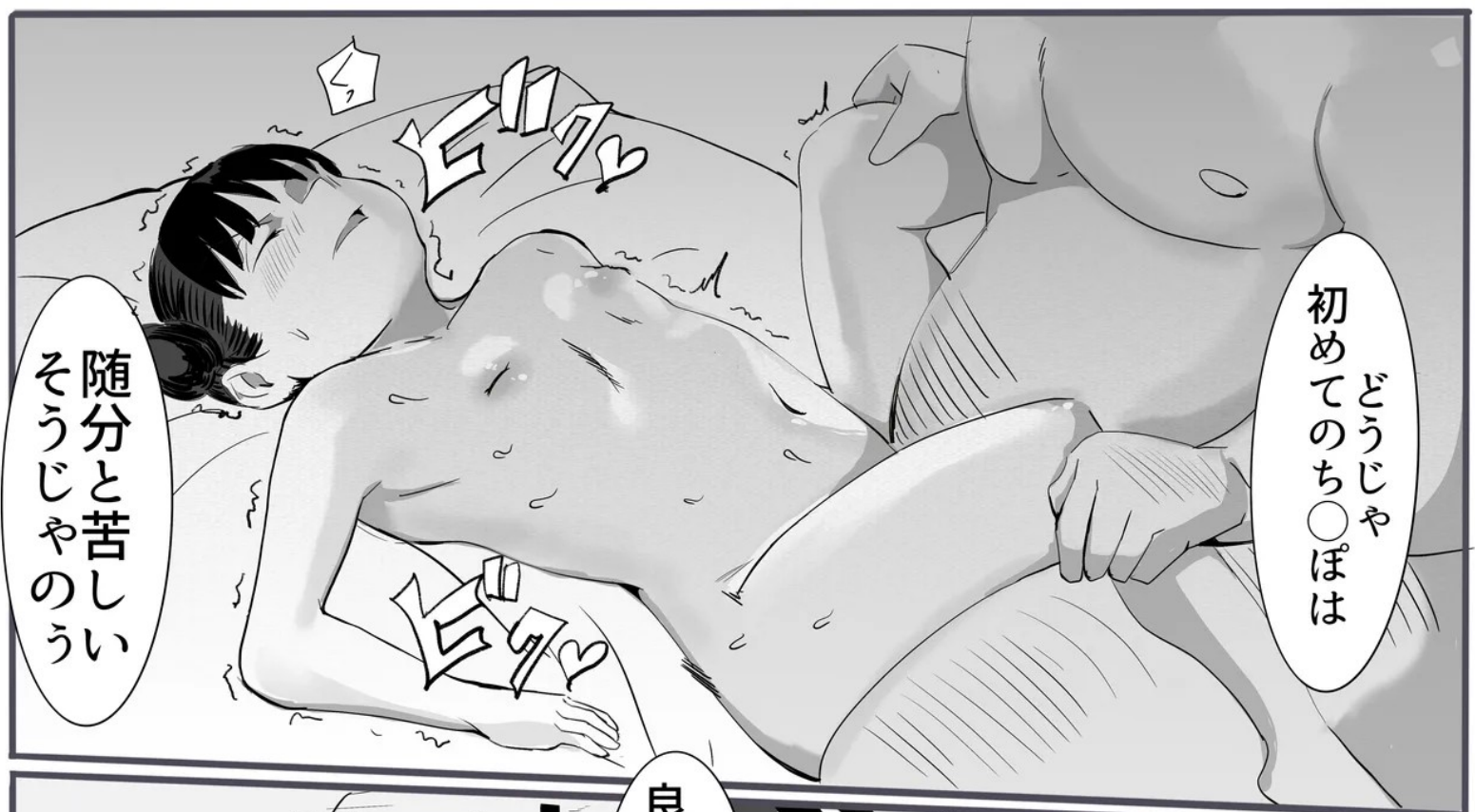


病みつきに
なりおる♡



一度ハマると





初めてのち○ぽは

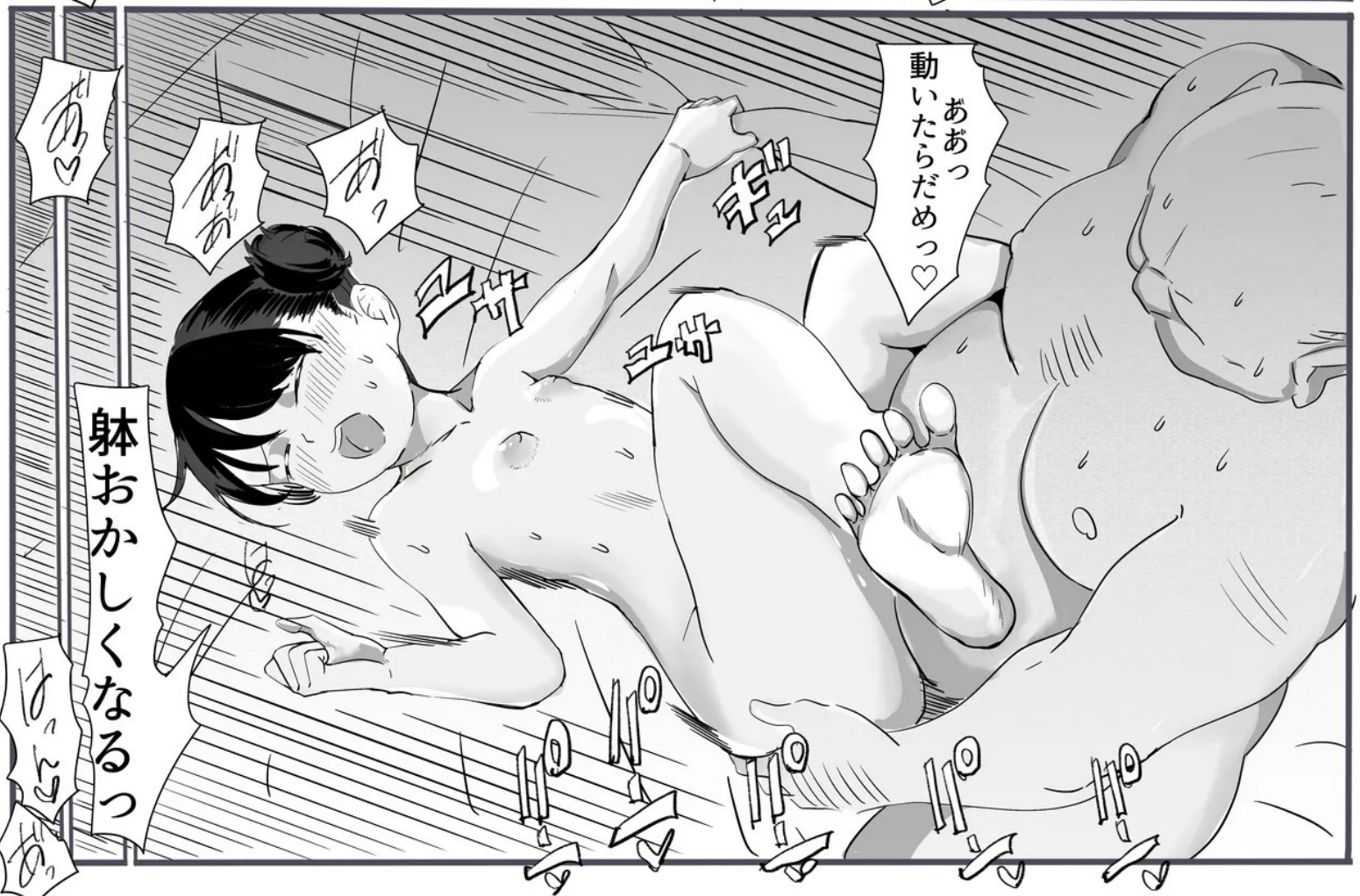
随分と苦しい



安心せい

直ぐ
良くしてやる

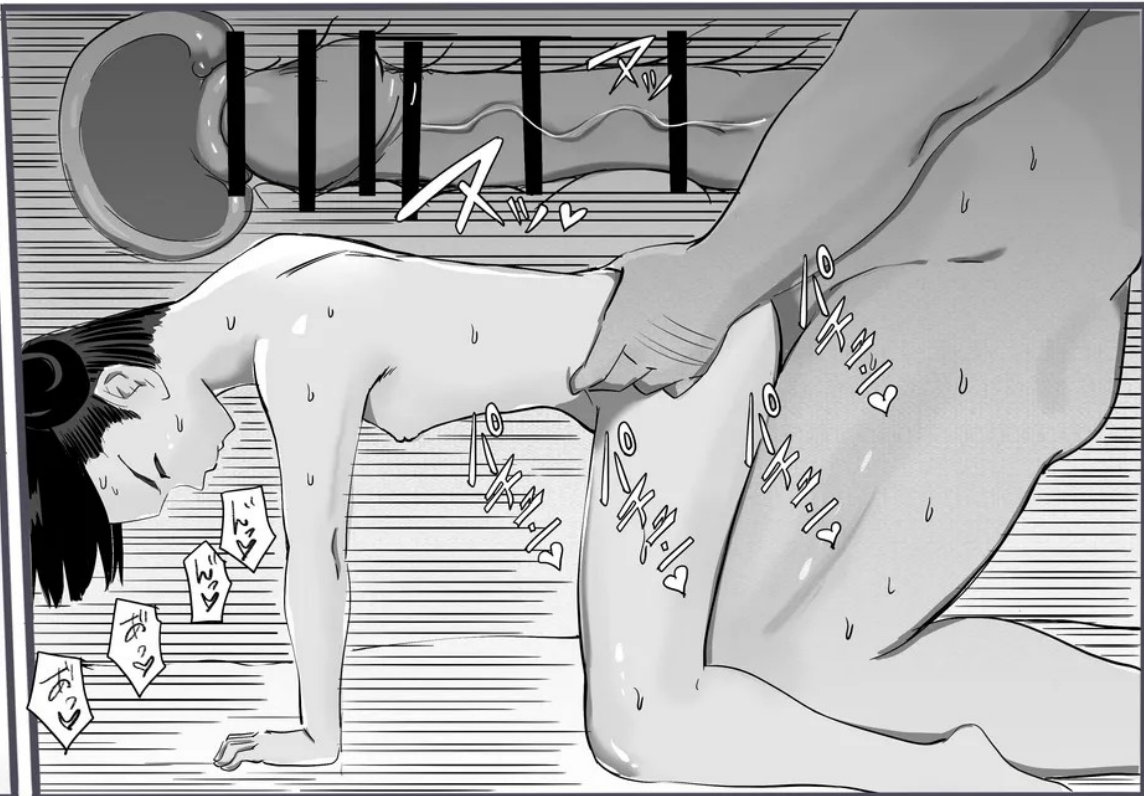
?!



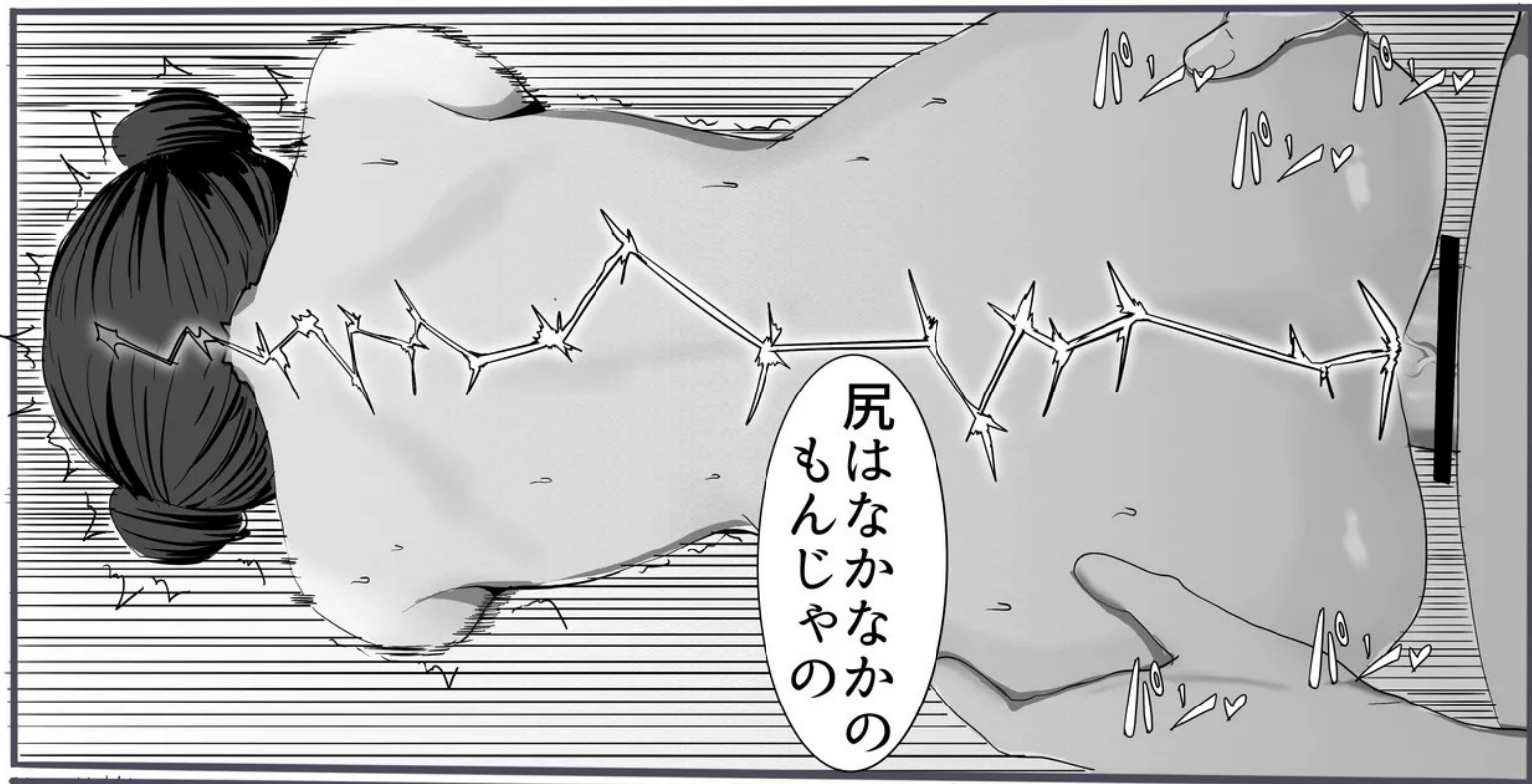
あぁっ
動いたらだめっ♡

躰おかしくなるっ

胸は
ふむつ
無いが



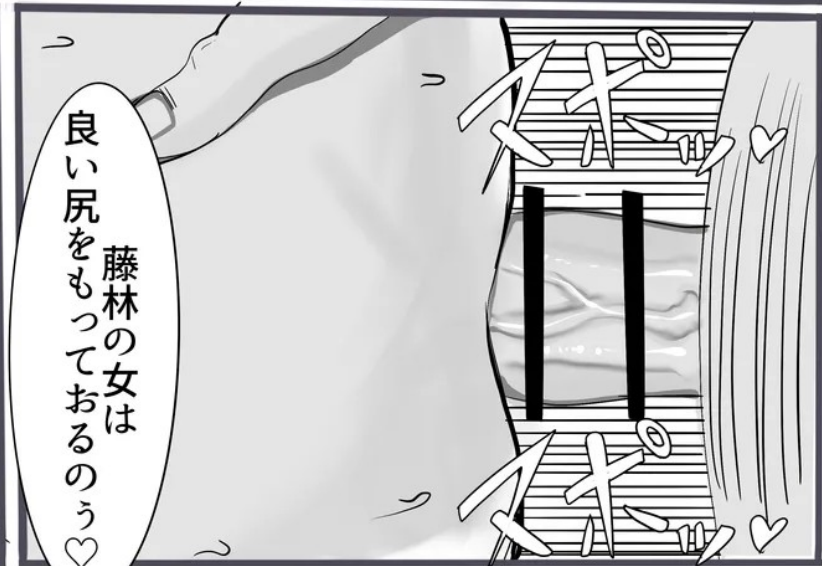
尻は
なかなか
の
もんじやの



ああっ♡



藤林の女は
良い尻をもっておるの♡







お前は どうしたい？

尻尾を振り
儂に忠誠を誓うなら
手元に置いてやらんこともないぞ



どうだ？
百



従うものか！

おほい



誰が

貴様のような豚に



姉上を返せ!

豚め!
私に気安く触れるな!



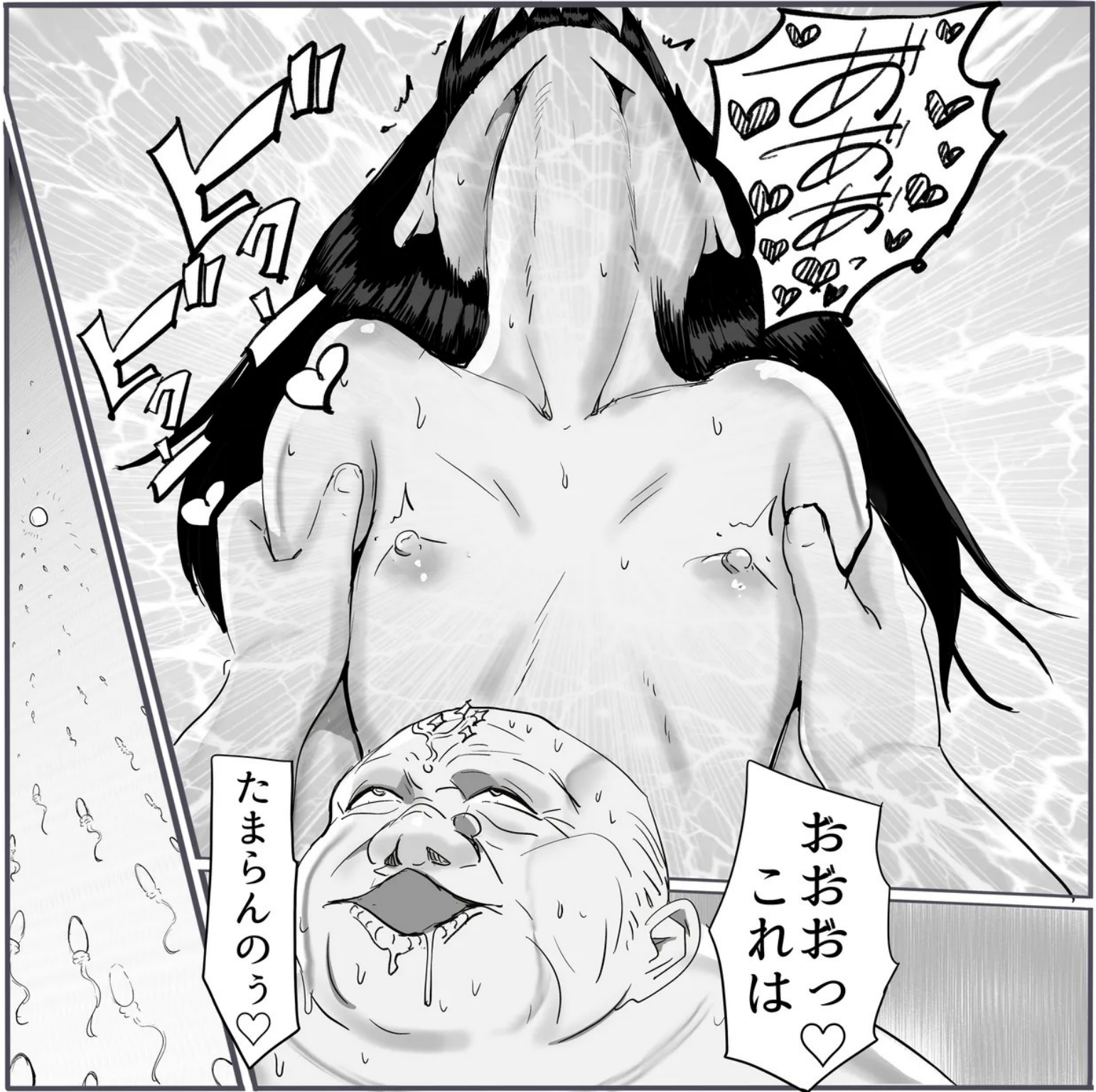
だめだつ

弾ける♡



なんだ?
躰がおかしい...

追いつめられてく感じが
どんだん







全く

藤林の女は直ぐ
孕みおる

口では生意気言うても
躰は正直なもんじゃ

くっ不覚
こんな男の子を
孕んでしまうとは

腹の子も

有り難く思え

お凜たつての頼み
じゃからお主手元に置く事に
したんじゃぞ

儂手ずから
とりあげてやるからな

くっ

出産の時

もつと踏ん張らんか
ほれ

アハハハ

あと少しじやぞ



出てきた
出てきた

俺の子が♡

薬も使って
痛みは快樂に変わる

出産も
気持ちええじやろ♡

アハハハ





これでまた一つ
黒田に食い込めた



百（苦勞様
よくやった



奴は国賊も
同然の男ですよ



黒田の側に
つくなんて

姉上本気ですか



生き残って

成り上がるんだ

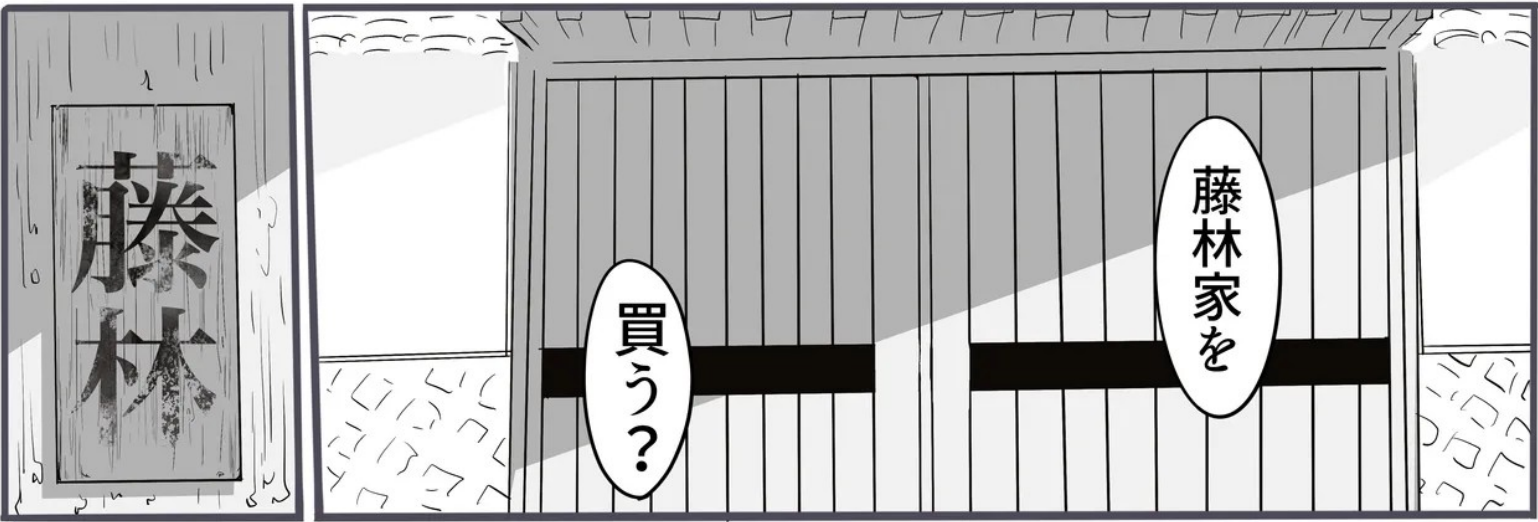


この波に乗れらねば
生き残っても緩やかな滅びからは
免れられない

時代が大きく動こうとしているんだ
百

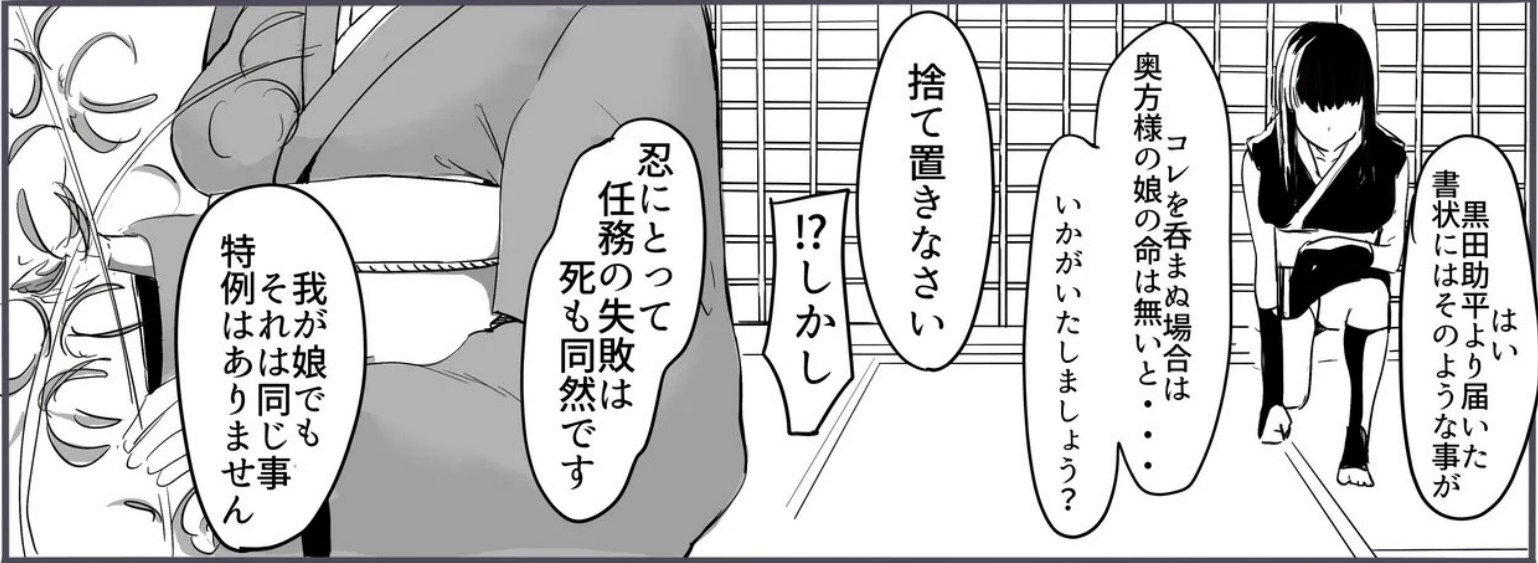


余りにも
危険では…



買う？

藤林家を



はい
黒田助平より届いた
書状にはそのような事が

コレを呑まぬ場合は
奥方様の娘の命は無いと・・・
いかがいたしましたでしょうか？

捨て置きなさい

!?しかし

忍にとって
任務の失敗は
死も同然です

我が娘でも
それは同じ事
特例はありません



全く
親の気も知らず

馬鹿娘っ・・・

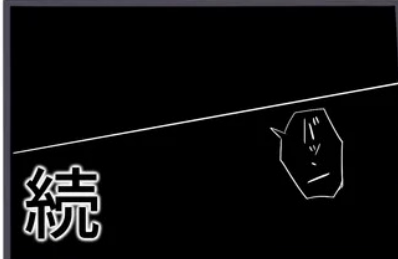
自業自得



百に至っては
命令無視の
単独行動で捕縛されるとは

目も当てられません

藤林家 当主
藤林 葵



続